



RESEARCH

Influence and insight  
through social media

2019年4月

# シスコ スマート ライセンシング

によりインフラストラクチャへの投資を最大限に活用

ホワイトペーパー

作成 :

**Zeus Kerravala**

**ZK Research**

A Division of  
Kerravala Consulting

© 2019 ZK Research

## 著者について

Zeus Kerravala 氏は、ZK Research の創業者であり、主席アナリストを務めています。Kerravala 氏は、現在および長期的なビジネス動向における顧客の役に立つ戦術的アドバイスや戦略的アドバイスを提供しています。主に、エンドユーザ組織の IT マネージャおよびネットワーク管理者や、IT ハードウェア、ソフトウェア、およびサービスのベンダー、投資先を検討中の投資家などに向けて、調査結果や洞察を提供しています。

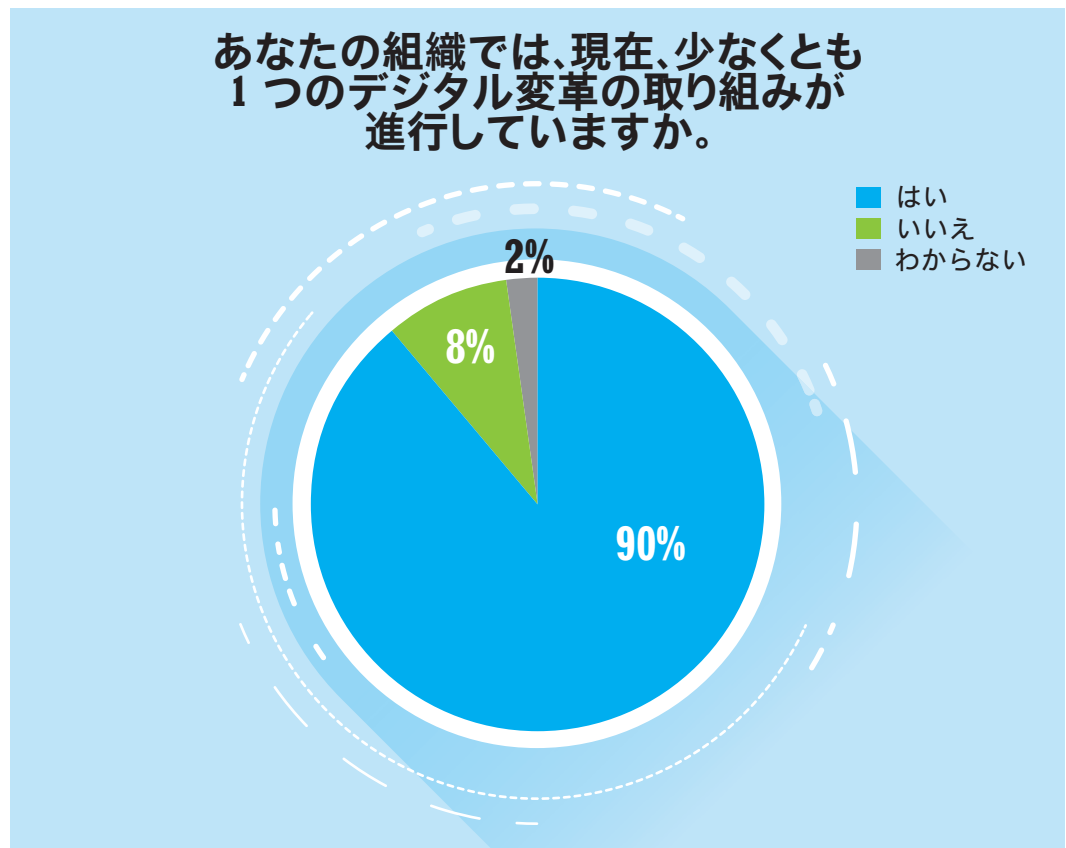
## はじめに: デジタル変革に必要なソフトウェアのアジリティ

デジタル変革は、ほぼすべての IT リーダーやビジネス リーダーにとって最重要課題となっています。ZK Research 2019 IT Priorities Survey の結果、90% の企業でデジタル変革の取り組みが進行中であることがわかりました (図 1)。このデジタル時代においては、企業の競争優位性を語る際に、どの会社の製品や人員が一番優れているかという基準は通用しなくなっています。市場のリーダーシップを握れるかどうかは、市場の変化を見極め、いち早く対応していくための情報分析力、洞察力、迅速な決断力にかかっています。

デジタルビジネスへの移行にあたって重要なステップは、俊敏な組織に変革することです。これには、ビジネス ニーズに合わせてダイナミックに変化する IT 基盤が必要です。このような理由から、企業は IT のアジャイル化を進めるためのテクノロジーに 2019 年には 140 億ドルを超える資金を投下しています (ZK Research 調べ)。

現在、IT 支出の大部分をソフトウェアが占めていますが、これはソフトウェアがデジタル変革の重要な要素であるためです。IT のほぼすべての分野が、アプリケーション、サーバ、ネットワーク、セキュリティなどのソフトウェアとして販売されています。しかし、ソフトウェアの購入は単純なものではなく、プロセスを複雑にし、企業が過剰に投資する原因となるような落とし穴がたくさんあります。企業が俊敏な組織になるためには、ソフトウェアの購入やライセンス取得の方法を変える必要があります。

図 1: デジタル変革の普及



ZK Research 2019 IT Priorities Survey

企業が俊敏な組織になるためには、ソフトウェアの購入やライセンス取得の方法を変える必要があります。

## セクション2:従来のITインフラストラクチャ向けソフトウェアライセンスングにおける課題

インフラストラクチャのライセンス取得の現行モデルは、数十年前から導入されています。通常、ルータ、スイッチ、またはサーバは永久モデルで購入されます。このモデルでは、企業は製品が更新されるまでハードウェアとソフトウェアを所有します。更新の時点で、企業は新しいハードウェアとソフトウェアを購入する必要があります。その後、このサイクルが繰り返されます。この方法は数十年にわたってインフラストラクチャ購入の標準となっていますが、次のようないくつかの問題があります。

**企業は自社が所有している製品について、十分に把握できていない。**ソフトウェアのライセンスを取得するには、さまざまな方法があります。ユーザ単位、デバイス単位、コア単位、メモリ単位のモデルでライセンスを取得できますが、無制限の場合もあります。そのため、ライセンスのトラッキングが非常に困難になります。堅牢なインベントリ管理システムが導入されていない限り、特に大規模なグローバル組織では、すべてを把握するのは非常に困難です。ZK Research の推計では、ツールによってソフトウェア使用率を測定し、購入した製品を最大限に活用できているか把握している企業は、35%にすぎません。

**ソフトウェアは企業ではなく、個人またはデバイスに関連付けられる。**ソフトウェアをアクティブ化するためのネットワーク デバイスの登録は、多くの場合、そのデバイス进行操作するエンジニアに関連付けられます。または、デバイス自体をソフトウェアの「所有者」として指定することもできます。いずれの場合でも、企業が基盤となるインフラストラクチャをアップグレードする際は、既存のライセンスが個人またはデバイスに関連付けられているため、新たにライセンスを購入する必要があります。

**ライセンスの発注と管理のプロセスが複雑である。**購入対象についての理解が企業に不足していて、ライセンスのトラッキングがその場しのぎで行われるため、企業が何を注文すべきかを理解するのは非常に困難です。企業は、コンプライアンス違反のリスクを冒すか、または過剰に投資するかの難しい選択に直面しています。ZK Research によると、過去 12 カ月間に約 70% の企業がソフトウェアベンダーの監査を受けていたことが判明しています。監査に対する不安と、購入済みの製品に関する不確実性が組み合わさって、組織ではソフトウェア予算を年間平均 28% 超過しています。ライセンスの管理が困難なため、ライセンスの調整も時間のかかる面倒なプロセスとなります。

**マニュアル管理は現実的ではない。**ライセンス、ハードウェア、およびライセンス契約をトラッキングする 1 つの方法は、チームを投入して問題に対処することです。このアイデアは一見よさそうに思われますが、実際はうまくいきません。インフラストラクチャは非常に専門化されていることが多く、企業は各分野の専門家に頻繁に問い合わせ、購入した理由を理解する必要があります。これは貴重なリソースの浪費です。

シスコ スマート  
ライセンスは、お  
客様とパートナー  
がシスコのインフ  
ラストラクチャの  
ライセンスを購  
入、アクティブ  
化、管理するた  
めの、よりシンプ  
ルかつ迅速な方  
法を提供します。

アクティベーションキーにより柔軟性が制限される。ソフトウェア業界では、アクティベーションキーの使用が一般的です。アクティベーションキーはソフトウェアの不正使用を防止するために設計され、その目的を果たしてきました。しかし、アクティベーションキーは特定の製品に関連付けられているため、アップグレードや新規購入の際にはキーのアップグレードが必要になることが多く、柔軟性が制限されます。

### セクション3: シスコスマート ライセンシングの導入

シスコはサンノゼを本拠地とし、ソフトウェア ライセンシングへのアプローチを変革しています。シスコはコンピューティング、セキュリティ、ネットワークの分野で数十年にわたってイノベーションの最前線を歩んできました。現在、エンドツーエンドのソフトウェア ライフサイクルを変革し、お客様がシスコの機器を簡単に購入して管理できるよう取り組んでいます。大きな変更点は、従来のアクティベーションキータイプのライセンス (PAK: Product Authorization Key) から、ライセンス登録プロセスを迅速に行う「スマート ライセンス」モデルへの移行です。

スマート ライセンスでは、すべてのシスコ製品ファミリにおいて、ソフトウェア ライセンスの管理方法が大きく変わりました。重要な点ですが、スマート ライセンスは、従来のライセンスシステムとは異なるシステムです。ライセンスが個々のシスコ製品にインストールされないという点で、スマート ライセンスはソフトウェア資産管理システムと似ています。代わりに、ソフトウェアライセンスのプールが定義され、個々のデバイスは設定に基づいて必要なライセンスを使用します。

シスコのスマート ライセンスは従来のソフトウェア モデルよりもはるかに柔軟であり、ITプロフェッショナルが社内でライセンスをアクティブ化し、管理する方法を簡素化します。この新しいアプローチにより、企業がシスコのソフトウェアライセンスを調達、導入、管理する方法を合理化できます。

スマート ライセンスが提供するシンプルで簡潔な解決策により、シスコのお客様とパートナーは適切なデータを入手し、現在および将来の投資に関して、十分な情報に基づいた意思決定を行うことができます。従来のライセンスモデルと比較すると、シスコスマート ライセンスは、お客様とパートナーがシスコのインフラストラクチャのライセンスを購入、アクティブ化、管理するための、よりシンプルかつ迅速な方法を提供します。

シスコスマート ライセンスは、従来のライセンスモデルとは次の4つの点で異なります。

**ナレッジ:**従来のライセンス方式では、スプレッドシートや自社製ツールを使用します。そのため、お客様は自分の組織が何を所有しているかほとんど把握できていません。スマート ライセンスでは、シスコのすべてのソフトウェア、サービス、デバイスを使いやすいポータルから利用できます。

**登録:**アクティベーションキーでは、各デバイスを手動で登録する必要があります。スマート ライセンスでは、PAK の概念がなくなり、製品が自動登録されて簡単にアクティベーションが完了し、すぐに使用できるようになります。

**所有権:**従来のライセンスはデバイス固有であるため、デバイスごとに1つのライセンスが必要です。スマート ライセンスは柔軟性が高く、プールに配置されるように

設計されているため、さまざまなデバイスに移動して再展開できます。このプーリングという概念により、お客様はライセンスのコンプライアンスを心配することなく、迅速かつ柔軟に新しい製品やサービスを導入することができます。

**柔軟性:**従来のライセンスは、支払い済みのライセンスを紐づけたデバイスにのみ適用できます。スマートライセンスを使用すると、お客様はソフトウェアの使用を「急増」させたり、一時的に制限を超えて使用したりして、後でライセンスの問題を解決することができます。

スマートライセンスに移行するには、まず [cisco.com](https://cisco.com) でスマートアカウントを作成する必要があります。スマートアカウントは、ライセンスを表示、保存、管理できるリポジトリです。このプログラムの目的は、これまであらゆる規模の企業が答えられなかった質問に答えを提供することです。1つ目の質問は「当社は今まで何を購入してきたのか」であり、2つ目は「当社は現在何を使用しているのか」です。

スマートアカウントでは、ユーザがプロフィールを設定し、「バーチャルアカウント」と呼ばれるサブフォルダを使用してライセンスとデバイスを整理することもできます。スマートアカウント内の機能であるバーチャルアカウントを使うことで、よりきめ細かいライセンス構成が可能になります。図 2 に示すように、バーチャルアカウント

図 2: バーチャルアカウントにより、スマートライセンスのきめ細かい管理が可能



シスコおよび ZK Research、2019 年

は、事業部門、製品タイプ、地域、その他の企業にとって把握しやすい方法で整理することができます。スマートアカウント管理者は、バーチャルアカウントを作成および管理できます。ベストプラクティスの観点から、バーチャルアカウントを使用すると、ローカル管理者は全社規模のアクセスではなく、必要なライセンスにのみアクセスできるようになります。その結果、使用率が向上し、より効率的なプランニングが可能になります。

スマートアカウントには、次の5つのロールがあります。

**スマートアカウント承認者**は、スマートアカウントのプロパティの編集、すべてのユーザの表示、契約の承認、ログの表示を行うことができます。承認者は監視の役割を果たしますが、ライセンス管理アクティビティを行うことはできません。

**スマートアカウント管理者**は、プロパティの編集、ユーザとバーチャルアカウントの追加と編集、契約の承認、イベントログの表示を行うことができます。管理者は、スマートアカウント全体のライセンス管理アクティビティを実行できます。

**スマートアカウントユーザ**は管理者に似ていますが、新規またはバーチャルアカウントを作成することはできません。

**バーチャルアカウント管理者**は、スマートアカウント管理者に似ていますが、割り当てられたバーチャルアカウントに限定されます。

**バーチャルアカウントユーザ**は、スマートアカウントユーザに似ていますが、バーチャルアカウント内のライセンス管理に限定されるという制限があります。

スマートアカウントのフレームワーク内には、次の2つのタイプのアカウントがあります。

**カスタマースマートアカウント**は、お客様がアクセスして使用できるようにライセンスを保管する場所です。ライセンスは、お客様が直接、またはシスコの販売パートナー（VAR）やマネージドサービスプロバイダーなどの指定されたサードパーティによって管理できます。

**パートナー ホールディングアカウント**は、一時的なホールディングアカウントまたはストレージと考えることができます。このアカウントには、カスタマースマートアカウントに移行する前にライセンスを保管することができます。

シスコへのライセンス情報のレポートは、あらゆる種類のコンプライアンスとセキュリティ要件を満たすために、3つの異なる方法で行われます。これらのオプションには、次のようなものがあります。

スマート ライ  
センスは、デジ  
タル組織にとっ  
て必須要件であ  
る柔軟性とオプ  
ションをお客様  
に提供します。

**ダイレクトクラウドアクセス**がデフォルトです。このモデルでは、シスコは使用状況情報をインターネット経由でシスコのクラウドに直接送信します。これは最もシンプルなモデルで、追加のインフラストラクチャは必要ありません。

**オンプレミスのライセンスサーバ(サテライト)経由でアクセス**する場合は、シスコ製品は使用状況データをローカルサーバに送信します。サーバがインターネットに接続されていれば、定期的にデータがシスコのクラウドと同期されます。接続されていない場合は手動で同期できます。

ライセンス予約 (SLR) による**完全なオフラインアクセス**では、ローカルサーバとシスコのクラウド間で手動のコピーアンドペースト方法を使用して、ライセンスのチェックインとチェックアウトを処理します。このオプションは、インターネット接続がない場合に使用できます。

#### セクション4: スマートライセンスおよびスマートアカウントのメリット

シスコスマート ライセンシング プログラムは、ソフトウェア管理の新しいパラダイムです。スマートライセンスは、厳格な指針に基づいてソフトウェアに関する責任をお客様に負わせるのではなく、デジタル組織にとって必須要件である柔軟性とオプションをお客様に提供します。お客様は、更新サイクルや、コンプライアンス違反に対して大きなペナルティを課す従来のライセンスモデルの制約に縛られることはなくなります。それどころか、スマートライセンスを採用する企業には次のようなメリットがあります。

**リアルタイムの可視性:** 組織全体でシスコのソフトウェアライセンスの所有状況と使用状況を確認できます。

**一元管理:** ソフトウェアライセンスを集中管理して可視性を高めることで、管理対象資産の使用率を向上させます。

**コスト効率の高いプログラム:** 低いオーバーヘッドと大幅に改善されたプランニングにより、ライセンス管理コストを削減します。

**組織の柔軟性:** ライセンスは事業部門、地域、その他組織の指定によってグループ化できます。

**スマートな意思決定:** スマートライセンスは、アップグレード、更新、交換をいつ行うべきか、といったインフラストラクチャに関するデータと洞察を提供することで、単に適切なだけでなく最善の意思決定を可能にします。

**使いやすいシステム:** 直感的なポータルにより、ライセンス管理のすべての側面を簡素化します。

**デジタル変革との連携:** インフラストラクチャの購入と変更をリアルタイムに行うことで、企業の業務が停滞するのを防ぎます。

デジタル変革への取り組みを加速させるライセンスモデルへの移行は、すべての企業とIT責任者にとっての最優先事項です。

**ライセンスのポータビリティ:**お客様は、不良品交換プロセス (RMA) を通じてハードウェア製品を交換する必要があるときなど、インストールベース内でライセンスを簡単に移動できます。

シスコスマート ライセンシングのメリットは主に受けるのは明らかにお客様です。しかし、メリットを受けるのはお客様だけではありません。シスコのリセラーパートナーには、次のようなメリットがあります。

**販売活動の簡素化:**シスコのインフラストラクチャを販売するにあたって、アクティベーションや管理によって生じていた障壁が解消されます。

**お客様にとっての価値の向上:**パートナーがお客様に代わって、スマート アカウントを使用してエンタイトルメントを管理する権限が付与されている場合、パートナーはお客様の要求に基づいてエンタイトルメント管理サービスを提供できます。

**お客様の戦略的パートナーになる:**お客様がインフラストラクチャとソフトウェアに対する支出を最適化するのを支援します。

## セクション 5:まとめと推奨事項

デジタルビジネスの時代が到来し、ビジネスの俊敏性が重視されています。しかし、企業の俊敏性は自社のITインフラストラクチャと比例します。これまでは、ネットワークやその他のインフラストラクチャは静的で柔軟性に欠けていて、組織が新たな機会を逃す要因となっていました。必要なのは、ビジネス ニーズにより的確に対応できる新しいインフラストラクチャのライセンスモデルです。

シスコスマート ライセンシングとスマート アカウントは、現在のニーズに対応する適切なソフトウェア機能を企業が購入できるようにするとともに、今後の未知なるニーズに対応する柔軟なモデルを提供します。これにより、お客様のインフラストラクチャ管理の向上を支援します。

デジタル変革への取り組みを加速させるライセンスモデルへの移行は、すべての企業とIT責任者にとっての最優先事項です。ZK Research では、組織がこの取り組みを開始するのに役立つよう、次の事項を推奨しています。

**ネットワークを戦略的な資産と考える。**ITはネットワーク中心型モデルに移行しつつあり、ネットワークは最終的にクラウド コンピューティング、モビリティ、Internet of Things (IoT) などの取り組みの成功または失敗を左右するようになります。ネットワークは、競争優位性の基盤となる戦略的プラットフォームと考える必要があります。

**ソフトウェア管理のプロセスを簡素化する。**企業はソフトウェアの管理に多くの時間を費やしています。それにもかかわらず、企業は過剰投資、またはベンダーのコンプライアンス違反のリスクがあります。ITプロフェッショナルは、ソフトウェア管理のライフサイクルを簡素化するためにあらゆる努力をする必要があります。



スマートライセンスとスマートアカウントを採用する。シスコスマートライセンスとスマートアカウントは、従来の購入モデルよりもコストとイノベーションの両面で優れています。ZK Research では、これらの新しいシスコのプログラムが、デジタルビジネス時代に適したインフラストラクチャ購入モデルであると考えています。

## 連絡先

[zeus@zkresearch.com](mailto:zeus@zkresearch.com)

携帯電話：301-775-7447

オフィス：978-252-5314

© 2019 ZK Research:

A Division of Kerravala Consulting  
All rights reserved. いかなる形式によっても ZK Research による事前の許可なく複製または再配布することを禁止します。

ご質問やご意見がある方、または詳細情報を希望される方は、電子メールを [zeus@zkresearch.com](mailto:zeus@zkresearch.com) 宛てにお送りください。